

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計委託事業者選考等委員会
事 務 局	庁舎建設等担当課長 高橋 茂夫 公共施設マネジメント推進担当課長 今井 哲也 企画政策課企画政策係主査 渡邊 健介 企画政策課企画政策係主任 岡崎 章尚 小林 洋輔 福祉会館等担当課長 前島 賢 地域福祉課地域福祉係主査 山口 晋平
開 催 日 時	平成31年3月2日午後1時25分から午後4時25分まで
開 催 場 所	萌え木ホール
出 席 者	委員長 卯月 盛夫 委員 委員 河上 牧子 委員 委員 水谷 俊博 委員 委員 宮下 清栄 委員 委員 山家 京子 委員 委員 小泉 雅裕 委員
傍 聴 の 可 否	不可
傍 聴 者 数	—
傍聴不可等の理由等	小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計委託事業者選考等委員会設置要綱 第5条第4項
会 議 次 第	1 開会 2 委員長挨拶 3 会議 (1) 経過報告 (2) 第1回選考等委員会会議録の確認について (3) 選考等委員会 欠席委員の取扱いについて (4) 一次選考について (5) 二次選考について 4 閉会
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料1：選考等委員会のスケジュール概略 資料2：第1回選考等委員会 会議録 資料3：欠席委員の取扱いについて 資料4：一次選考から二次選考までの工程について 資料5：一次選考結果通知兼二次選考の実施について（通知文） 資料6：二次選考 タイムテーブル 資料7：二次選考 傍聴者について 資料8：二次選考 採点表
そ の 他	—

次第1 開会

《次第及び配付資料の確認》

【事務局】 本日の会議は、委員1名が欠席であるが、委員長含め6名の委員が出席しており、過半に達しているため、会議は成立していることを報告する。

次第2 委員長挨拶

《委員長挨拶》

次第3 会議

(1) 経過報告

【委員長】 「経過報告について」、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料1を御覧いただきたい。

はじめに、この間の経過報告としては、平成30年12月26日に第1回選考等委員会を開催し、第1回選考等委員会で提案のあった「二次選考のヒアリングの公開」、「一次選考通過者名の公表」、「技術提案書の展示」について、実施要領等を修正し、平成31年1月11日に公募型プロポーザルの募集を行った。市ホームページに掲載したほか、報道機関等への情報提供を行い、1月22日までに6者から参加表明書が提出された。併せて、プロポーザルに関する質問についても1月22日を締切りとし、事務局で質問に対する回答案を作成し、委員長に確認いただいた後、1月30日に質問に対する回答を市ホームページで公開した。また、質問に対する回答は、各委員にもメールで送付した。

その後、1者から辞退届が提出され、2月19日までに、5者から技術提案書が提出された。事務局において参加資格等を確認した後、2月20日に各委員に技術提案書等を送付し、各委員には仮採点をいただいている。

【委員長】 質問等があればこれを求める。

《質疑なし》

(2) 第1回選考等委員会会議録の確認について

【委員長】 「第1回選考等委員会会議録の確認について」、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料2を御覧いただきたい。

会議録は、第1回選考等委員会で、「発言者が特定できないよう加工し、発言者の発言ごとの要点記録とすること」、「提案部分に係る議事や審査経過等に係る議事は非公開とすること」、「会議録は選考等に支障のない範囲内で速やかに公開すること」ということで承認いただいている。資料2は、発言者が特定できないよう加工している。会議録の公開時期は慎重に見極める必要があるものと考えており、委員長とも相談し、第3回選考等委員会にて事業候補者、事業候補次点者を選考した後、第1回選考等委員会の会議録を公開したいと考えている。

【委員長】 会議録の取扱いについて、会議録は公開とするが公開時期について確認したい。

第1回選考等委員会では審査詳細について議論をしたので、現段階で公開するのは望ましくないと考えられ、最終的な選考が終わってから公開するということであるが、いかがか。

また、他市事例では、会議録公開は最終選考終了後という事例が比較的多いとのことである。意見等があればこれを求める。

【委員】 第1回選考等委員会の会議録について、議事の内容は問題ないが、委員名が黒塗りされている体裁が気になる。「A委員」、「B委員」と記載する等の対応はいかがか。

【委員長】 実際に公開する際は、委員名は黒塗りのままとなるか。

【事務局】 資料2のとおり委員名は黒塗りの予定である。

【委員長】 発言者の特定はそこまで重要ではなく、「A委員」、「B委員」とまでしなくても良いと考える。黒塗りを消し、全て「委員」としてはいかがか。

【事務局】 承知した。公開する際は、黒塗りではなく全て「委員」と記載する。

(3) 選考等委員会 欠席委員の取扱いについて

【委員長】 「選考等委員会 欠席委員の取扱いについて」、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料3を御覧いただきたい。

冒頭申し上げたとおり、選考等委員会設置要綱第5条第2項において、「委員会は、委員の半

数以上の者が出席しなければ会議を開くことができない」としている。

一方で、実施要領では、「技術提案書について、委員会において別添の評価の視点に基づき、各委員が10点満点で採点を行い、合計点の高い上位5者程度を一次選考通過者として選考する」としているところ、欠席委員の取扱いについて、特段の定めはしていない。

一次選考、二次選考における欠席委員の取扱いについて、議論いただきたい。

はじめに、一次選考についてである。一次選考の欠席委員の取扱いについては、「欠席が予め分かっている場合」と「不測の事態で欠席の場合」で2つに分けて整理したが、本日、急遽欠席となった委員はいないため、「欠席が予め分かっている場合」に絞って説明する。

ケース1は「欠席委員の仮採点を本採点として採用する」、ケース2は「欠席委員の仮採点は他の委員の参考資料とする」、ケース3は「欠席委員は仮採点を行わない」である。

事務局としては、仮採点を行い、各委員それぞれの専門から評価し、評価した理由、疑義がある事項等を委員会の中で共有した上で、本採点を行うことを想定している。については、欠席委員の意見等は参考資料として取扱い、出席委員の採点の合計点で選考するケース2の採用が望ましいと考えている。

なお、欠席委員には事前に事務局の考えを説明し、理解いただいた上で、仮採点を行っていただいている。また、委員会での議論の結果、ケース1やケース3となる可能性もあることについても了承いただいている。なお、欠席委員の仮採点については、内容等の確認を行うため、直接意見を伺った。

続いて、二次選考についてである。二次選考は、公開プレゼンテーション及びヒアリングを実施の上で選考するので、欠席の場合、評価は行わない。また、途中退席、途中参加は、評価にばらつきが生じるおそれがあることから、欠席委員として取り扱いたい。

【委員長】 一次選考はケース2とし、欠席委員の意見も参考とした上で議論し、出席委員の採点合計で決定したいという説明である。質疑等があればこれを求める。

《質疑なし》

【委員長】 承認ということよろしいか。

《異議なし》

(4) 一次選考について

【委員長】 「一次選考について」、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料1を御覧いただきたい。

この後、技術提案書について、意見交換を行っていただく。意見交換の時間はおおむね40分程度、採点時間を10分程度と考えている。

その後、10分程度で事務局が採点の集計と意見交換の取りまとめを行う。集計結果の委員名を「記名とするか」、「匿名とするか」を決めていただきたい。なお、集計結果は、会議の中だけの取扱いとなり、外部に対しては、非公開とする。

一次選考通過者は、合計点の高い上位5者程度と定めており、一次選考通過者数は、委員会で議論し、決めていただきたい。

一次選考通過者は、一次選考通過者名を市ホームページで公開する。なお、一次選考の評価点は二次選考に持ち越さないものとする。

【委員長】 各委員の仮採点に基づき、意見交換を行い、その後、本採点を行う。事務局としては本採点の集計に当たって記名とするか無記名とするか、ということである。本採点の集計は記名でよいと思うがいかがか。

《異議なし》

【委員】 本採点は、5者全て行うということによいか。

【事務局】 5者全て行っていただき、二次選考に進める必要が無いと判断される者がいたら一次選考通過者が4者になるということも考えられる。

【委員長】 本採点は5者について行い、その結果著しく結果が低いものがあれば、そこで議論を行うということよろしいか。

《異議なし》

【委員長】 意見交換を行う。

各委員の仮採点に基づいて進めていく。自身の意見も当然重要だが、他の委員の意見を聞いて

た上で最終的な採点をするのが重要となるため「仮採点」、「本採点」と2段階としている。受付番号順に技術提案書を見ながら議論を行いたい。

最後に質疑書を作成するので、疑問点、評価点等各委員から意見をいただきたい。欠席委員の意見は事務局から後ほど発表していただく。

それでは受付番号①の資料を御覧いただき、意見をいただきたい。

- 【委員】 業務取組方針について、市の置かれている状況は把握されているように感じた。一方、市民参加のワークショップについて具体的に書かれている部分もあるが、市民と関係部署へのヒアリング両方が書かれていて、その繋がりや時期が遅いように感じられる。議会対応は積極的に行っていたらいいので評価できる。
- 【委員】 提案の全体に共通するかもしれないが、印象として、計画を含めて手堅い感じがする。逆に、コンセプト含め小金井ならではの新しい提案はあまり感じられない。
市民参加のワークショップは3回程度で他の提案と比べて少し少ないように感じられた。提案内容についても、少し弱いように感じられた。
ただ、特に間はなく、標準的な提案と思う。
- 【委員】 専門が違うので構造等については評価が難しい部分もある。全体を見てどの提案も大体同じかとは思いますが、小金井は南北に大規模公園があり、玉川上水とはけがあって、それを繋ぐところがないのと、市の中央に何も無いのが小金井の弱い部分かと思っており、真ん中に緑を作っているため、評価している。
- 【委員】 庁舎建設の経緯や課題について具体的かつ詳細に把握されているという印象がある。一方で、新しい庁舎の在り方であるとかのコンセプトについては弱いように感じる。
業務の取組体制については信頼できる印象を持った。疑問点としては、設計工程が2019年度のみ記載となっており、他の案についてはもう少し先の期間まで記載されているので、疑問を持った。
- 【委員】 市の状況については他の提案と比べてみても一番良く把握されていると感じた。また、市議会の状況について、特別委員会や定例会などについても市の現状をよく理解いただいているという感想を持った。ワークショップについては、この位の回数になるのかな、という感想を持った。逆に回数を多く提案していただいているところもあるが、日程的な面や途中で市議会があることを考えるとワークショップの入れ方も色々あるだろうと考えると本当に実現可能なのかとも考えられ、年内に3回ほどワークショップを行い、11月に説明会を行うスケジュールは、程よく対応してくれているという感想を持った。
- 【委員長】 項目ごとの議論だと、時間が足りないので、全ての技術提案書についてまとめて意見を伺いたい。
業務取組方針については、普通であると感じた。複数案を作っていくと書いてあり、どこまで複数案を提示しようと思っているのか聞いてみたい。
今回のプロジェクトは中央線からどう見えるかということが、とても重要であると考えた。セットバックしてそこに緑がかなり入っているということで、立体公園的な景観イメージは中央線から見たときにより良いだろう。特にリサイクル施設が残っている時期もかなりあるので、それとの対比で考えると、2階、3階、4階等に緑があるというのは結構良いのではないかと。
提案書2枚目を見ると、図面上、高架下に店舗が書いてあり、こちらについての説明が無いようなので聞いてみたい。
提案書3枚目を見ると、床面積を1,000㎡低減しており、コストダウンになって良いとも評価できるが共有部分が減ることの不安もある。何によって1,000㎡の床面積が低減できたのかということが不安なので、きちんと聴いてみたい。
また、他の案と比較して、地下駐車場がメインになっている。リサイクル施設が移転し、その後、駐車場、緑地にするという計画が多い中で、地上部分の駐車場が少なく不便という側面もあるかもしれないが、緑地が多くなるだろうということで、地下駐車場が多いということは時代の流れだとは思っており、コスト高につながるの、議論なり質問をしないといけないと思う。
連携については、それほど特筆すべきことはない印象を受けた。
- 【委員】 テーマ1に関しては私もリサイクル施設が残っているときの利用イメージとか、それがあがる段階での広場の位置付け、また無くなった後のアクティビティパークになっていること、防災性を含めて、分かりやすく、用途としても良い印象を持った。
複合施設として複合化することにより、繋がることで新しい価値が生まれるということがもっと感じられると良いと思うが、複合化のメリットはあまり感じない。災害対応については、普通という印象である。
テーマ3についても、色々、削減努力の目標値は出ているが、その根拠がよく分からないと

いう印象を持った。削減に向けて具体的な数字を持って、ライフサイクルコストは22億削減するとのことなので、数値的な根拠を伺えると良い。

【委員】 テーマ1に関して、この案の魅力として緑地を多く取れているということは非常にいい点と思う。ただ、そのため、建築がコンパクトになり、建築内部は少し無理をしてしまっている感がある。

テーマ2について、複合施設としてのプランニングが2枚目に出ているが庁舎の中の建築計画空間構成としては中廊下型の特に特徴のない計画なので、その点において市民が利用する空間に対する魅力が少ないように感じる。

唯一、エントランスホール吹き抜けの辺りが空間の特徴かと思うが、そこに関しても施設連携の提案が無いような感がある。

テーマ3に関しては、非常に標準的で漏れはないようだが、特段新しい提案は無いように感じる。

【委員】 先ほど、委員長からも意見があった高架下をリンクさせるということはとても重要であると思う。JRとの関連があるので、すぐには難しいかと思うが、高架下を意識している部分は評価できる。

聞きたいのは、高炉セメントを地下に使うと提案してあり、建築ではそれなりに使っているかと思うが、全体に使うというのは、土木の視点から見ると、どうなのかと思う。

【委員】 地下駐車場を持ってきていて、かなり大幅に地下化しているのが特徴であると思う。その分緑地が確保されているとも言えるが、コスト面の心配がある。

また、オープンスペースの在り方として考えたときにウエットな緑地とするのか、市民のアクティビティを考えたときにもう少しドライな舗装の広場が良いのかは考えるところである。

建築計画としては新庁舎と福祉会館が渡り廊下ではなく、面でつながっているのも、連携は色々工夫ができると感じる反面、かなり詰めて書かれているので余白が無いようにも見える。書きすぎているのかもしれないが、少し気になる点である。また、構造について一体型免震も特徴になっており、メリットについて聞いてみたい。

テーマ3については、この案に限らず全てではあるが、プロポーザルに出されている事務所は能力があって、環境パッケージと言うか、庁舎であるとかオフィスビルに関して、似たような提案となっており、評価が難しい。

【委員】 地下駐車場を利用することで、中央線からの見え方も含めて緑の確保が特徴的である。

また、全体的な話になるが、複合化や空間についてのご意見もあったが、逆に庁舎らしく、複合化の議論がある中で、建物的に接地面も含めて一体感があるように感じた。

テーマ3に関しては、他の提案と比べると具体的に書かれているので分かりやすい。

【委員長】 欠席委員の意見について、特筆すべきことがあれば事務局からお願いしたい。

【事務局】 全体的なことについて説明する。

提案テーマ1の評価に当たっては、福祉会館の日照、前面道路からの移動距離・動線、南側に福祉会館を配置し北側に庁舎を配置している案を高く評価したとのことである。

また、歩車分離について、昨今電動自転車が普及するなど自転車のスピードが速く、自動車同様危険であり高齢者・障害のある方からすると、自転車と歩行者の動線が分けられているくらい広く取られているところが良い。駐車場について、障がい者用の平置き駐車場がある案を高く評価している。

提案テーマ2について、福祉共同作業所の設置場所は、様々な意見、考え方がることが前提ではあるが、委員個人の考え方として、福祉共同作業所は低層階に設置することが望ましいという考えがあり、高層階に配置している案は低く評価をしているとのことである。

【委員長】 受付番号①の案の特徴というのはおおよそ分かってきたと思うが、本採点を行う際、今のままでも良いし、他の委員の意見を聞いて少し変えてもいいと考えている。今の段階では、意見を戦わせる必要はないと考える。次に進めてもよろしいか。

《異議なし》

【委員長】 受付番号②について意見を伺いたい。

【委員】 設計思想というのがすごくはっきりしていて、市民との交流というのもより具体化されている印象を受けた。また、平置き駐車場は平時だけではなく災害時に有効であり、平時のオープンスペース、建物との一体的な利用のイメージも具体的との印象を受けた。

ただ、庁舎に求められる防災機能は一般的と感ずる。

ライフサイクルコストは基準値より30%減という面は評価できる。設計思想が明確で、屋外空間と庁舎、福祉会館、屋内との一体的な利用というのも良く、そういうものが災害時にも

生きてくる良いプランであるという印象を持った。

【委員】 コンセプトが分かりやすくしっかりしていて建築計画でも、それが反映されていると感じる。駐車場は地上ではあるが、受付番号①と同様、屋外のオープンスペースを非常に頑張って確保している部分が評価できる。提案書1枚目に具体的な表現があり、広場が非常にアクティブに使われている様子などは、評価できる。

建築的には「はけの辻」というテーマを踏襲しながら、施設内の「はけの舞台」という空間を設け、館内でのアクティビティが外でも見えるという工夫が見られると感じられる。

ワークショップについては、具体的な提案をされており、魅力的と思うが、どの程度、実現性があるのかは、確認が必要であると考えます。

また、環境に関しては自然共生庁舎ということで、きめ細かに、施設のディテールまで提案されているとの印象を受けた。

【委員】 コンセプトについて面白いと感じた。「はけの辻庁舎」というコンセプトが素晴らしいと感じた。

ワークショップについても、経験豊富なファシリテーターを使うと提案されているので、評価している。ユニバーサルデザインについての考え方が、見えないように感じた。

公園や広場について、小金井の一つの特徴は、雨水循環させる浸透柵設置数が大きな特徴であり、もう少し見える化するようなものがあったら良かったと感じた。

【委員】 課題も的確に把握されており、コンセプトも良くバランスも良い。市民参加の手法については、目が行ってしまうが、テーマの立て方も独特だなと感じた。建築計画としてL字でコンパクトにまとまっていてボリュームも抑えられている。「はけの舞台」というのがうまく広場と連携をしていくと良いとは思いますが、現時点では関わりがよく見えない。緑地は、駐車場が屋外にあるため少し少ないように感じた。

また、渡り廊下で連結をしているので、その辺は連携面でのフレキシビリティという点では難しさが残る。

【委員】 ワークショップ2回であり、その間、パブリックコメントや市民説明会が入ってくるということで、実現性に疑問が残る。

竣工が早いので、どのような工夫をされているのか伺ってみたい。コンパクトな庁舎や複合化により共用スペースを縮めていくものと考えており、2階以上が渡り廊下になっていて、その分、共用面積のコンパクトな考え方についてどのように考えていくのか疑問が残る。

【委員長】 工期が非常に短縮されていて評価をしたが、他者と比較したところ、あまりに工期を短く設定しすぎていないだろうかという疑問を持った。本当にできるのであれば素晴らしいとは思いますが、できるかどうかは質問したい項目である。

評価が難しいのは、渡り廊下の部分である。どんなにコンセプトが良くても、市民参加が素晴らしいとしても最終的な形が渡り廊下でしか繋がっていない。庁舎と福祉会館の連携とか複合化ということがかなり大きな目的である以上、渡り廊下では、少し弱いように感じる。

また、「はけ」は他の提案者でも使っているが、「はけの舞台」の意図や活用方法が分かりづらいように感じる。言葉が独り歩きしている印象を受けた。

渡り廊下について聞くべき項目になると思う。

工期がこんなにも短いという点についても質問したい。

【委員長】 受付番号③について意見を伺いたい。

【委員】 受付番号③についても比較的印象が良く、設計思想について3Rの視点を貫かれているとの印象を受けた。市民活動の交流の場としてスペースを設けられている。スケジュールについては不明瞭な印象を受けた。

特徴的なこととして、複合化のコンセプトがコミュニケーションネットワークを意識されていて面白い。また、パッシブ手法を効果的に取り入れているので、災害時の庁舎の完成にも繋がってくるのでその点も評価できる。

また、面積縮減がはっきりと感じられる計画になっている。懸念材料は改修費が標準庁舎よりも多くなるというところ、その他については縮減、削減されるが、改修費が大きくなる点については質問してみたい。

【委員】 提案資料の3枚目、施設計画に関して、市民の参画スペース等のプランニングを評価している。

コミュニケーションネットワークという提案が特徴的と感じるが、運営上どのようにできるのかについて、ヒアリングで少し詳しく聞いてみたい。1階のマルチスペース、多目的スペースの連携の仕方や、中心に福祉会館と繋がっていく考え方については非常に良いと思う。

パッシブ手法について、提案としては良いと思うのでファサードデザインとの関連性も確認してみたい。

- 【委員】 動線についてよく考えられている。また、パッシブ手法を使用している点、細かく記載されている点が評価できた。うまくいくのかは分からないので、その辺については聞いてみたい。
- 【委員】 課題を的確に把握されていてコンセプトに発展されている点について評価できる。コンセプトの立て方やネーミングについては巧みだなどの印象を受けた。
特徴としては、駐車場のピロティ空間が使い方によっては非常に効果的なのではないかと思う反面、緑地としては他者に比べ印象が弱いように感じた。
- 【委員】 ピロティ空間について災害時などの利用がしやすく非常に特徴的に感じた。その分、福祉会館が2フロアになっている。
執務スペースやオフィス空間の面積部分を工夫して、17,000 m²から 15,820 m²と減らしているが、どこまで可能なのかについて確認をしてみたい。
- 【委員長】 二つの建物を重ね合わせた点を評価した。単に言葉だけではなく、重ね合わせたところに、それほど大きくはないが吹き抜けを設けて、吹き抜けを介して1階と2階、3階と同じフロアの庁舎と福祉会館の「見る・見られる」の関係が生じている。そこにカフェや市民参画の会議室等があるので、この吹き抜けを中心に様々な交流や連携が生まれる期待が生まれている。提案テーマの連携という部分では最も良い評価をした。「思いやり駐車場」などネーミングについても中々うまく考えられている。他者の案は緑地や中央線からの見え方を考えているが、さくらを使いシンプルな印象を受けた。
工期はほとんど市の提案どおりとしており、その期間の中でいいものを作るという潔さを感じた。もう少し緑が合ってもいいかと思うが、好感の持てる、経験の豊かさを感じた。
- 【委員長】 受付番号⑤について意見を伺いたい。
- 【委員】 最初にこの絵を見たときに、金が掛かりそうという印象を受けた。また、ランドスケープ的に特徴があると感じた。小金井市の特性の豊かな水と緑が設計思想に反映され、プランにもしっかり位置付けられている印象がある。地域全体の立地の中でも庁舎の位置も防災拠点としての位置付けをしっかりと提案している。
コスト検証について、もっと早い段階でやった方が良いのではないかと感じる。
施設の複合性についても良く考えられている。
この提案については、ランドスケープの点で優れていると感じた。
- 【委員】 この提案は、評価が分かれると思っていた。施設全体で大地を作っており、そこをきちんと提案できているという部分について、他の庁舎にもない提案だと思っており、小金井市の象徴としての施設ができると魅力的ではないかと個人的には思った。
各階に、テラス的な空間が大なり小なり配置されていて、建物内でも、外との関係性等含めて心地良く感じられるのではないかと感じている。詰めていけば、どんどん魅力的になる可能性を秘めていると感じる。ただし、上層階までの動線がどうなるのかは、気になる部分ではあるため、聞いてみたい。
- 【委員】 建物の記述は良いが、周りについての記述が少なく、どうなっているのかなと感じた。
吹き抜けで風の道を作ったりするのは良いと思うが、台風などに対する対応について疑問がある。
- 【委員】 コンセプトが明確で魅力的な空間提案である。立体的な広場が非常に特徴的であることと、他者が6階建てであるのに対し7階建てでボリュームがあり、ボリューム感、コスト面でどの程度影響があるのかが気になる。
オープンオフィスを採用しており、かなり開かれた印象があり、特徴的であるが、柔軟な対応が可能なのかと感じる。ただ、イニシャルコスト、ランニングコスト共に不安が残る。
- 【委員】 ランドスケープとして非常に特徴的で、目に留まる印象はあるがコスト面が気になる。また、コスト検証について、提案書だけでは分かりにくいように感じた。
職員は階段を利用することが多くなることを考えると、4階にあるグランド02のようなフロアで執務スペースが分かれてしまう空間があると、オフィススペースとしては働きにくいように感じた。
- 【委員長】 中央線から見たときの魅力はこの提案が一番ある。最初に見たときにこの提案は賛成と反対が両極出るのを狙っていると思った。見た目は魅力的だが、実際に使いこなす市がどのように緑の維持管理をするのか、風が吹くということは良いが、オフィスとしてどうなのかとか、維持管理体制について発注者に相応の覚悟が必要であると思う。
- 【委員】 提案テーマとして、コンパクトな庁舎ということがある。このプランだけ7階建てになって

おり、市の調査も7階建てではあるが、コンパクト感があまりないような印象がある。

- 【委員長】 全フロアが7階ではないので、そこまで目立つわけではないかと思うが、この提案は面積の記載がないので、オフィス空間として利用できる面積は確認をしたほうが良いと思う。
- 【委員】 市職員の使い勝手の点と、一般の市民としては施設利用のあり方が重要になってくるので、その辺のバランスをどのように考えるか、ということが重要と思う。
- 【委員】 使い勝手ということについては、庁舎だけでなく福祉会館についても考慮する必要がある。
- 【委員長】 小金井は緑と水が特徴なので、この位でも楽しさがあり市民からの評価も高いようにも思うが、中々、難しい部分ではある。プレゼンテーションで伺ってみてからの判断となる。
- 【委員長】 受付番号⑥について意見を伺いたい。
- 【委員】 形容詞が多く具体性が見えにくい印象を受けた。
屋外スペースが各所に設けられていて災害時にも利用が可能との印象はあるが、全体を通して具体性が弱い印象を受けた。
- 【委員】 提案の密度がやや少なく弱い印象を受けた。
建物が段々になっている部分は特徴と感じられた。プランニングについても特段提案性がなく少し弱いように感じた。縁側モールが施設計画のメインだと思えるが、もう少し使い勝手も含めきめ細かく提案をいただければ良かったと感じる。
- 【委員】 コンセプト的には面白いと感じた。特に中央線からの車窓を意識している緑の庁舎であると感じた。
- 【委員】 縁側モール等発展させると魅力的な提案はあるが、提案内容としての密度はやや低く、具体性に欠けてしまう印象がある。
また、これだけ段々のテラスになっているので、実際のランニングコスト、イニシャルコストについても気になる部分ではある。
- 【委員】 特徴としては、縁側モールが特徴的であると感じた。また、桜や緑についても多く取り入れていると感じたが、中身が少し弱いように感じる。
- 【委員長】 大きな特徴として、市の調査の配置案と、庁舎と福祉会館の位置が逆になっているところがある。逆になっていることのメリット、デメリットについては評価が難しいが、福祉会館が手前にあるので福祉会館としては良いという感じもあるが、手前にあることで工期が早くなる根拠は不明である。工期についてもかなり短縮しているようだが、庁舎と福祉会館を逆にしたことによって工期が短縮されているのかが読み取れなかった。
福祉会館と庁舎の関係については良くできていると思う。福祉会館の1階部分は市民活動のスペースとなっており、堅い庁舎建築になりがちな傾向があることから、一定の評価をしている。
中央線からの見た目は、この提案が、一番ボリュームが大きく見える印象がある。上から見ることはほとんどないため何とも言えないが、一番上の6階部分の形が突出しているのがシンボリックに見えるのかなと思った。しかし、連携がしっかりとできていないのかについては読み取れず、4階と5階は渡り廊下でしか繋がっていない点は、少し残念に感じた。
事務局として、調査の段階では庁舎と福祉会館はなぜこの配置にしたのか。
- 【事務局】 両施設のボリューム、高架側に一定の高さの建物を建てられないこともある中で福祉会館 4,400㎡と庁舎 12,665㎡でこのような配置になるというものである。
- 【委員長】 工事車両動線であるが、提案どおり工事車両動線が利用できれば工期短縮が可能だろうということだと思うが、この件について事務局の見解はいかがか。
- 【事務局】 こちらの提案は高架側を工事車両動線として活用する提案になると思うが、清掃関連施設は残っており、高架との間は現在使用していない。
- 【委員長】 かなり重要なポイントであるので、事前質疑に含めることにしたい。工期短縮についても、庁舎と福祉会館の位置関係について大きく関わってくる項目になるかと思う。
- 【委員長】 提案5者に対する意見交換を終えて、この後、本採点を行いたいと思う。意見交換により修正を加えて、本採点を行い、事務局に提出いただきたい。

(休憩)

【委員長】 集計結果の確認を行う。事務局から報告を求める。

【事務局】 採点結果をスクリーンに表示した。一次選考通過者の決定をお願いしたい。意見等があればこれを求める。

【委員長】 実施要領では5者程度としている。各者、多少の点差はあるが、5者を一次選考通過者とし、プレゼンテーション・ヒアリングを踏まえて判断することが望ましいと考えるがよろしいか。

《異議なし》

【委員長】 一次選考通過者名について事務局より公開いただきたい。

【事務局】 一次選考通過者は、受付番号①大建設計・雄建築事務所 共同企業体、受付番号②株式会社安井建築設計事務所東京事務所、受付番号③株式会社佐藤総合計画、受付番号⑤株式会社遠藤克彦建築研究所、受付番号⑥株式会社横河建築設計事務所である。

3月4日(月)に、一次選考通過者へ結果通知を送付する。また、併せて選考結果を市ホームページに掲載する。

(5) 二次選考について

【委員長】 「二次選考について」、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料4を御覧いただきたい。

二次選考までの工程である。

3月4日、一次選考の結果通知と技術提案書に対する事前質疑を送付する予定である。

3月8日、各者から公開用展示パネルを提出していただくとともに、二次選考の順番を決めるための抽選を行う。

3月12日までに事前質疑に対する回答を受領し、各者の回答を取りまとめの上、各委員にメールで送付する。

【委員長】 二次選考に向けた事前質疑とヒアリングについて、議論を行う。

二次選考におけるヒアリング時間が限られているので、二次選考をスムーズに進めるため「事前質疑で回答をいただく項目」と「ヒアリングの当日に質問する項目」を、ある程度、決めたいと思う。

プレゼンテーション・ヒアリングは時間が限られているため、根本的な質問、大きな項目については、事前に1者3つ程度の質問を行い、文書でプレゼンテーション・ヒアリングの前に回答をいただき、各委員と共有する。それを事前に理解した上で当日の質問に臨む。

そのため、事前に聞きたい項目や聞くべき項目をピックアップしたい。それ以外の項目は、当日、時間のある範囲で質問を行うこととしたい。

(意見交換に基づき、事前質疑について議論)

【委員長】 事前質疑としなかった質問項目についても、当日のヒアリングの際の参考としたいと思う。

【事務局】 事前質疑は3月4日に一次選考通過者に送付するため、文言等の整理を事務局で行った後、内容確認は委員長一任とさせていただきたい。

【委員長】 承認ということでよろしいか。

《異議なし》

【委員長】 資料5について、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料5を御覧いただきたい。

資料5は、一次選考結果通知兼二次選考の開催通知である。

「1. 公開プレゼンテーション・ヒアリング等について」は開催日時と開催場所である。「2. 技術提案書展示に関するパネルの提出について」は技術提案書の展示を行うこと、提出物及び提出日である。「3. 技術提案書における事前質疑」は、3月12日までに回答いただくよう提案者に求める。「4. 二次選考以降のスケジュール」は3月末の契約締結予定までのスケジュールを記載している。

別紙は「公開プレゼンテーション及びヒアリング等について」である。「2. 公開プレゼンテーション等の順番について」、3月8日に展示パネルを提出する際に抽選を行い、順番を決定することを記載している。「3. 公開プレゼンテーション等の出席者について」は、管理技術者

と建築（総合）主任担当技術者の出席者を必須とし、他の主任担当者2名、パソコン操作者1名の計5名としている。「5. 公開プレゼンテーション等に関する注意事項」について、プレゼンテーション及びヒアリングは公開、プレゼンテーションは15分、ヒアリングは25分とすること、プレゼンテーションは技術提案書に基づいて行うことを記載している。(5)はプレゼンテーションの時間内で出席者の自己紹介を行うこと、(6)は業務取組方針については管理技術者又は建築（総合）主任技術者が行うことを記載している。(7)は公開プレゼンテーション等の出席者が他者のプレゼンテーションを傍聴することが出来ない旨を記載しており、例えば、「A者の出席者」は「B者」のプレゼンテーションを傍聴できないことを記載している。(9)は、事前質疑に関する留意事項である。事前質疑に対する回答は、二次選考までに文書で回答をいただくが、公開プレゼンテーション等の中でも事前質疑に触れながら説明することも想定される。この場合、傍聴者は事前質疑の内容を把握していないため、傍聴者との情報共有も考慮し、質疑内容も含めた説明を行っていただくことを記載している。

【委員長】 資料6について、事務局から説明を求める。

【事務局】 第3回選考等委員会・二次選考のタイムスケジュールである。
詳細は、資料を御覧いただきたい。

【委員長】 プレゼンテーションが15分、質疑応答が25分である。選考委員は7名なので、一人1問は質問ができると考えている。本日は事前質疑について議論したので、当日はプレゼンテーションを聴いて疑問に思ったところを質問いただくことになる。あるいは、事前質疑に対する回答で分からないことがあったら、さらに質問を行ってもよい。

【委員】 公開プレゼンテーションの傍聴者は手続を行うのか。また、公開プレゼンテーション等の出席者が他者のプレゼンテーションを傍聴することが出来ないとしているが、プレゼンテーションの出席者以外の関係者は傍聴して良いということになるか。

【事務局】 公開プレゼンテーションの出席者は、プレゼンテーションを行う5名である。傍聴者について、事前申込制にした場合は出席者の特定ができるが、そうでないとすれば関係者か否かをチェックするのは難しいと考える。プレゼンテーションを行う5名は、傍聴をできないようにしている。

【委員】 他者との公平性を保つためとは思いますが、公開としているため、若干、違和感がある。

【委員】 色々なケースがあると思う。提案者達が控室にアテンドされて接触しないよう配慮するケースもある。

【事務局】 抽選で順番を決めているため、後から発表を行う提案者は、各者のプレゼンテーションの前に会場に来ていただく予定である。

【委員長】 事前に順番の抽選を行うのはなぜか。

【事務局】 事前に展示用のパネルを提出いただく際に、提案者の方々が一同に集まるので、その際に抽選を行うこととしている。当日抽選となると最後の提案者の待機時間がかかり長くなってしまふことになるので、提案の順番は事前に決めたいと考えている。

【委員長】 全部オープンで聞いている場合もあるので、それで良いと思うが、注意事項として、プレゼンテーションの出席者は傍聴できない旨の記載は必要である。併せて、資料7も関連するので事務局から説明を求める。

【事務局】 資料7を御覧いただきたい。二次選考の傍聴者についてである。

二次選考の傍聴者については、当日先着順、事前申込制の2つの方法が考えられるが、当日先着順は、基準が明確である一方、定員以上の傍聴者が訪れた場合、入場できない可能性があるといったデメリットがある。

事前申込制とした場合、傍聴者数を管理できるが、告知、申込、抽選等の手続に相当の期間及び事務体制の確保が必要となる。他市事例では当日先着順の採用事例が多いこと、二次選考までのスケジュールが非常にタイトであることから当日先着順を採用したい。

また、当日先着順を採用した場合、傍聴者の資格確認は困難なため、特段の資格は設けないこととしている。また、注意事項として会場からの質疑は受けられないことを市報等に記載することとしている。

傍聴者注意事項（案）は、二次選考当日に傍聴者に配布する注意事項である。公開は、プレゼンテーション及びヒアリングのみであること、審査は非公開で行うこと、技術提案書にある提案内容は変更になる可能性があること、受託者の技術提案内容に他社の技術提案内容を加えることができないこと、及び会場内での注意事項等を記載している。

【委員長】 質問等があればこれを求める。

【委員】 報道関係者が傍聴する際、パソコンなどの一切の機器について使用を不可とした場合、困らないか。

【事務局】 メディアが会場風景等の写真を撮りたい場合、市としては断ることはできないが、提案内容については、他の傍聴者にSNS等で広められる懸念があるので望ましくないと考えているので、会場風景等の撮影等に留めていただく必要があると考えている。

【委員長】 資料8について、事務局から説明を求める。

【事務局】 資料8を御覧いただきたい。二次選考の採点表（案）である。詳細は資料を御覧いただきたい。

【委員】 配点は整数でよろしいか。

【委員長】 そのとおりである。
他になければ、本日の会議は以上で終了する。